



行動規範

毎日体現すべき当社の価値観



目次

CEOからのメッセージ	3	競争する – 公平で誠実な競争に徹する	15
はじめに	4	営業と広告	15
Workdayの中核的価値観	4	競合情報と公正な競争	15
従業員それぞれの責任	4	Workdayの知的財産	16
ピープルリーダーの責任	4	他者の知的財産の保護	16
声を上げる – ためらわず率直に意見し、提起する	5	尊重する – 法規を遵守する	17
育てる – 安全でインクルージョンを大切にする職場を育む	6	規則を遵守する	17
尊重とインクルージョンの上に築かれた職場	6	法規の遵守	17
Workdayは機会均等雇用主	6	貿易に関する法律	17
差別やハラスメントの防止	7	インサイダー取引	18
薬物のない職場	7	正確な記録	18
健康と安全	8	政府、行政との関係	19
保護する – プライバシー、機密、会社所有物を守る	9	一般への開示	19
情報を安全に保持する	9	配慮する – 地域社会を大切にする	20
Workdayの機密情報と専有情報	9	企業の社会的責任および人権	20
従業員のプライバシー	9	政治的貢献	21
他者のプライバシーを尊重する	9	慈善寄付	21
Workdayの資産とリソース	10	環境サステナビリティ	21
行動する – 誠実に行動する	11	グローバルな影響	21
贈答品と接待	11	ポリシーの管理、適用免除、修正	22
利益相反	12		
不適切な支払いを防止する	13		
責任あるAI	14		

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

CEOからのメッセージ

2024年1月

Workdayのすべての行動の基盤は、誠実さです。実際、これは当社の中核的価値観の1つです。心中をはっきりと口にし、口にしたことは私たちの考えそのものです。私たちは正しいことを行い、誠実に行動し、敬意を持って他者と接することに尽力します。

行動規範を基に倫理的かつ誠実に事業を推進する方法を理解することにより、「誠実さ」だけでなく、「素晴らしい職場環境を従業員に提供すること」、「卓越したサービスを顧客へ提供すること」、「革新的な製品・サービスを届けること」、「仕事をしながら楽しむこと」、「長期的な収益力を達成すること」という、当社の他の中核的価値観に焦点を合わせて事業に取り組むことができます。これは、Workdayコミュニティの一員として、倫理的かつ誠実に事業を遂行することを公に宣言するものです。

誠実さに対するコミットメントは、従業員同士のコミュニケーションだけでなく、顧客、パートナー企業、サプライヤー、地域社会および株主への対応にまで及びます。当社の一員として行動する上で、単に仕事をしているのではなく、Workdayで仕事をしているという意識を持ってください。私たちは、Workdayの一人一人が本規範を熟読し、本規範に従うことを求めます。疑問がある場合は本規範を参照し、また不明な点については声を上げるようにしてください。直属のマネージャー、人事部、およびWorkdayインテグリティチームがお手伝いします。また、質問や懸念事項の報告には、独立し、匿名性を維持した報告ツールである[Speak Up](#)を利用することもできます。

これからも共に、Workdayを誇れる職場として、仕事への意欲が高まる充実した環境を作り上げていきましょう。



Carl Eschenbach



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

はじめに

この行動規範（「本規範」）は、Workdayの中核的価値観について述べるとともに、Workdayの一員として業務を遂行する上で期待される行動を定めるものです。Workdayでは倫理的に行動し、すべての適用法に従って業務を行うことに尽力しています。本規範はWorkdayにおいて従業員が直面しうるすべての問題や状況に明示的に対応するものではありません。一方で、本規範には、従業員がWorkdayの一員として行動する際に従わなくてはならないガイドライン、規則、原則が盛り込まれています。当社はすべての従業員および役員（総称して「Workmate」）が本規範を熟知し、本規範に従うことを求めます。本規範に従わないことで、あなただけでなく、あなたの同僚とWorkdayにリスクが及ぶおそれがあります。そして懲戒処分や解雇といった結果を招くことがあります。

Workdayの中核的価値観

当社の中核的価値観は、私たちの行動の指針となります。中核的価値観は、リーダーシップ、日々の意思決定、従業員満足の枠組みとなります。当社の価値観は単なる志ではなく、私たちの姿を形作るものです。



従業員



顧客サービス



イノベーション



誠実さ



楽しさ



収益力

従業員それぞれの責任

Workmateには、倫理的な課題と問題を認識し、すべての業務で正しい行いを実践する責任があります。Workdayのすべてのポリシーと、各自に該当する従業員ハンドブック（またはその他の当社のポリシー）をよく理解してください。これらの文書では、勤務時

のWorkday従業員の行動に関する期待事項が詳細に説明されています。自分自身と自分の役割に適用される制限事項に従ってください。制限事項を無視するよう圧力を感じた場合でも従ってください。時には、倫理的に正しい選択肢がはっきりしない場合に問題が発生することもあると思われます。疑問や懸念がある場合は、必ず相談し、指導を求めてください。本規範や当社の価値観から外れると思われることに直面した場合は、報告してください。

ピープルリーダーの責任

ピープルリーダーは模範となり、常に最高水準の行動を示してください。チームメンバーが自身の責任を理解し、報復の恐れなく安心して問題と懸念を提起できる環境を創り出してください。問題が提起されたら、即座に行動を起こし、懸念に対する適切な措置を取り、問題を是正してください。

部下のWorkmateが本規範を理解し、たとえ倫理的な行動によって望ましい業績を達成できなくなるようになったとしても、Workdayでは倫理的に事業を遂行することが何よりも重要であると理解していることを確認してください。

賢明な判断

業務上の行動に着手する前に、次の点を自問してください。

- その行動は合法的かつ倫理的で、社会的に責任のある行動か？
- その行動は本規範の精神とWorkdayの価値観に従ったものか？
- その行動が社内、社外に知れ渡った時、Workdayにとって恥となることはないか？
- 有用な知恵や知識を持つ者は他にいないか？

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

声を上げる – ためらわず率直に意見し、提起する

分からないことをそのままにはいけません。本規範に従い、違反の疑いについて懸念を報告する上で役立つリソースが数多く用意されています。疑問、問題または懸念には以下のチームが適宜に、かつ確実に対応します。

マネージャーと上級幹部は通常、所属先の業務に適用されるガイドラインに精通しており、従業員からのそういった質問に対応できます。

Workdayインテグリティチームは、倫理的行動と法律遵守の企業文化を推進しています。また、本規範の内容を分かりやすく説明、解釈し、Workdayの一員として倫理的に業務を行う方法について指導できます。

integrity@workday.com

人事部は雇用、福利厚生、職場の問題に関する質問に答えることができます。人事プログラムについての一般的な質問や要請は、人事部の[サービスハブ](#)で提出できます。

職場の問題は、ask.peoplepurpose@workday.comまでメールにて報告してください。

当社の匿名によるSpeak Upツールは、24時間年中無休で利用できます。これは独立した、安全な機密のプログラムです。大半の地域において、Workmateは匿名で報告することを選択できますが、Workdayが効率よく有効な調査を行うことができるよう、報告者は名前を明かし、可能な限り多くの情報を提供することが推奨されます。

Speak Upオンライン：speakup.workday.com

Speak Upヘルプライン：800-325-9976 (米国外からの電話番号はspeakup.workday.comにアクセスしてください)

Workmateは社内ですぐに生じたあらゆる懸念について、Workday取締役会の監査委員会に問い合わせることができます。Speak Upツールを使用して、監査委員会に報告すべき懸念であることを示すか、または次の宛先まで問題を報告することができます。

Generalcounsel@workday.com

Workday取締役会、監査委員会

法人秘書役

6110 Stoneridge Mall Road

Pleasanton, CA 94588

Workdayは、本規範、Workdayのポリシーや手順に対する実際の違反もしくは違反の可能性、または違法行為や倫理に反する行動を誠実に報告した者へのあらゆる報復行為を禁止しています。誠実な報告に対する報復行為は、たとえその報告が後に事実に基づかないと判明したとしても、禁止されています。当社では、当社業務に基づくこのような問題を報告した者に対する報復行為を禁止しています。これにはコンサルタントおよび過去の従業員も含まれます。詳細については、Workdayの[告発に関するポリシー](#)をご覧ください。

Workdayは、不正行為に対するすべての申し立てをすみやかに調査します。すべての報告は、可能な限り機密性への配慮を持って取り扱われます。報告に関して連絡を受けたすべてのWorkmateは、調査に参加し、全面的に協力する必要があります。これには質問に対して偽りなくすべてを話すことや、調査の機密を保持することなどが含まれます。調査への協力を怠ることは、行動規範違反になり、解雇を含む懲戒処分に至ることがあります。

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

育てる – 安全でインクルージョンを大切にする職場を育む

尊重とインクルージョンの上に築かれた職場

多様性に富み、インクルージョンを重視して、公平な職場環境を醸成し、従業員の誰もが大切にされ、自分の存在価値を実感できることは、Workmateと顧客の幸せ、優れた製品の提供、持続する企業の構築にとって非常に重要であるとWorkdayは考えています。すべての人の価値観のインクルージョン、帰属意識、および公平性 (VIBE™) に対する揺るぎないコミットメントにより、当社の企業文化は特別なものになるのです。私たちは皆、VIBEにおいて重要な役割を果たしており、Workmateが平等に尊重される職場の創出に取り組んでいます。これには、異なる経歴、経験、視点、見識、スキルを持つそれぞれのWorkmateに対し、プロとして敬意を持って接することが含まれます。インクルージョンを大切にするのは職場における絆を強化し、また、すべてのWorkmateのために平等な機会を設けることは、Workdayの職場としての価値を高めます。

すべてのWorkmateには、一切のハラスメント、いじめ、偏見、違法な差別のない、尊重を重んじる職場文化を維持することが求められます。

詳細情報のリンク

[尊重しあう職場のためのポリシー](#)

Workdayは機会均等雇用主

Workdayは採用、報酬、昇進、懲戒、契約終了など、雇用に関する一切の判断において違法な差別をしません。これには「保護される特性」に基づく差別が含まれます。またWorkdayは、適格である障がい者と、誠実な宗教心のもと行いを実践する人々に対し、合理的配慮を図ることに尽力しています。

保護される特性には以下が含まれます。

- 年齢
- 家系
- 肌の色
- 性別 (妊娠の有無、出産の有無、健康状態など)
- 性別認識、性別表現
- 遺伝情報
- 婚姻状況
- 健康状態
- 精神障害または身体障害
- 出生国
- 保護対象となる介護または病欠の状況
- 人種
- 宗教 (信条、信仰、無宗教など)
- 性的指向
- 兵役歴
- その他法律で保護される事項

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する



差別やハラスメントの防止

Workdayは尊重、寛容、インクルージョンに基づくプロフェッショナルな環境の維持に尽力しています。差別やハラスメントは許されません。差別やハラスメントを一切容認しない方針は、すべてのWorkmateだけでなく、ベンダー、サプライヤー、契約社員、コンサルタント、顧客にも及びます。

本ポリシーの違反に直面したら、躊躇することなく声を上げてください。差別や不適切な行為についての苦情または報告を善意で行う者、調査に協力する者、または該当する法律に基づく権利を行使する者に対して、雇用上マイナスとなる措置が取られることはありません。法律と本規範とで保護されているこれらの行為に対する報復は絶対に許されません。

詳細情報のリンク

[告発と苦情に関するポリシー](#)

[ハラスメント・差別・いじめに関するポリシー](#)

薬物のない職場

Workdayは薬物のないプロフェッショナルな職場の維持に尽力しています。勤務中であるかどうかを問わず、酒類、違法薬物、未許可の規制物質の使用は職務達成、効率性、安全性、健康に悪影響を及ぼし、WorkmateがWorkdayに対してふさわしい貢献ができなくなります。Workdayのポリシーは以下のことを具体的に禁止しています。

- 違法薬物や未許可の規制物質を所持または使用すること、また、違法薬物や未許可の規制物質の影響下で勤務すること
- Workdayの業務を遂行中に飲酒運転をすること、また、違法薬物や未許可の規制物質の影響下においてながら運転をすること
- 勤務中に違法薬物や未許可の規制物質の譲渡、配布、販売、または購入を行うこと

詳細情報のリンク

各自に該当する従業員ハンドブック、またはこれに相当する従業員向けポリシー

Workdayが主催するイベントで、法定飲酒年齢の者が適度に飲酒することは許可されています。このようなイベントにかかわる者は、賢明な判断力を発揮し、プロフェッショナルで責任あるふるまいを心掛け、主催イベントに向けた規定に従わなくてはなりません。Workdayの社交行事への参加は任意です。また、行事に参加するWorkmateに、無理に飲酒を勧めてはいけません。

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

健康と安全

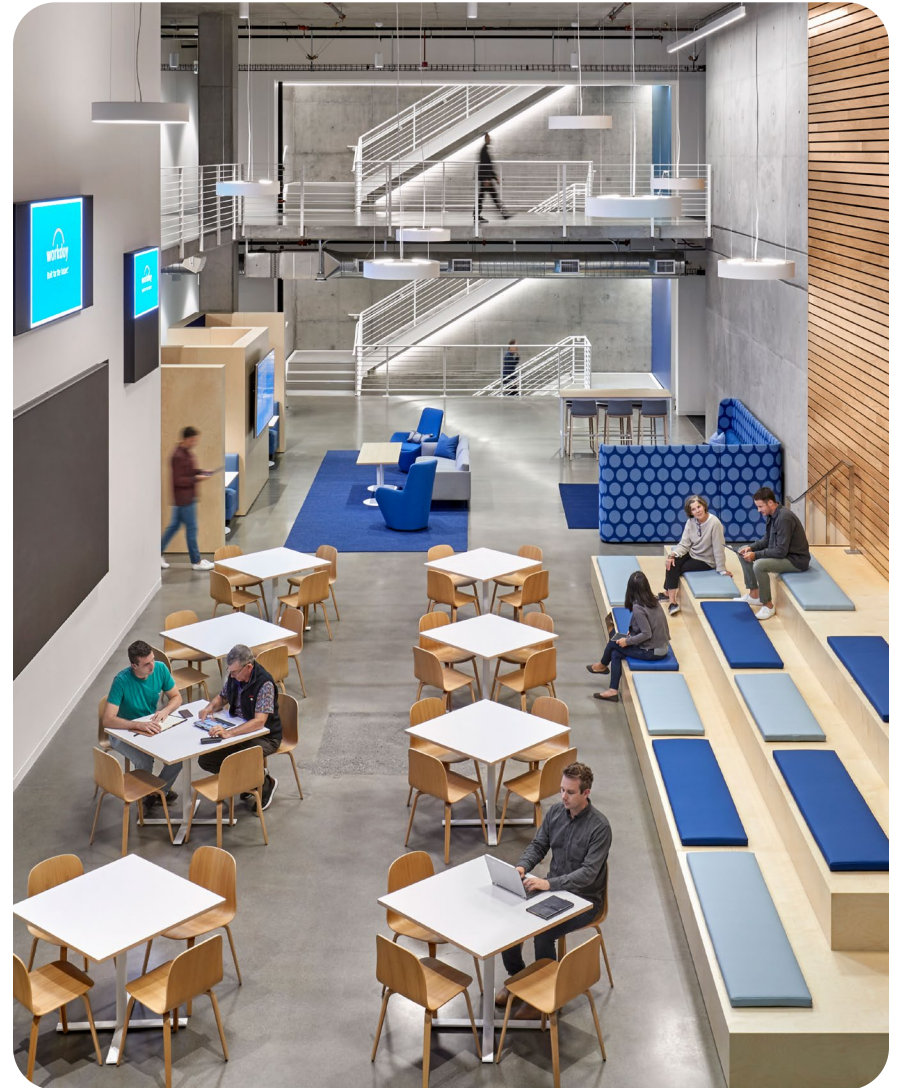
WorkdayはWorkmateとその他の人々に健全で安全な職場環境を提供することに尽力しています。全員が常時安全に注意を払い、あらゆる労働災害や疾病を報告するだけでなく、危険な状況についても報告しなくてはなりません。また、Workdayは職場における暴力行為を一切許容しません。また、Workdayは、自社のいかなる施設、イベント、または顧客の施設への武器の持ち込みを禁じています。

誠実さを体現するために

一切の労働災害、負傷、疾病および／または安全、保安上の脅威をGlobal Workplace Safety (グローバル職場安全) まで直ちに報告してください。

電話+1-925-701-5555または+353(1)707-6655、

電子メールsafety@workday.com



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

保護する – プライバシー、機密、会社所有物を守る

情報を安全に保持する

当社は、すべての機密情報と専有情報について、細かな注意を払い、適用される法律に従って取り扱うことに尽力しています。

Workdayの機密情報と専有情報

Workmateは日常的に、Workday、顧客、サプライヤーおよびパートナー企業の機密情報や専有情報に触れています。機密情報と専有情報は従業員の信頼に託され、Workdayおよびその他の者にとって極めて重要なものです。

承認されたプロセスによって情報が公開される時まで、従業員は、すべての機密情報と専有情報を「知る必要のあるWorkday内の関係者以外は極秘」として扱うことが求められます。つまり、Workmateが正当な業務上の理由で情報を知る必要がある場合以外は、機密情報と専有情報を他者（家族、友人、他のWorkmateなど）に口外してはなりません。

不意に機密情報や専有情報を開示してしまうことがないように、十分に注意しなくてはなりません。

誠実さを体現するために

Workdayについて口外し、記述する際は、賢明な判断を忘れないでください。

従業員のプライバシー

Workdayは各Workmateのプライバシーを尊重し、Workmateの個人情報と機密情報を保護します。

詳細情報のリンク

[従業員のプライバシーステートメント](#)

他者のプライバシーを尊重する

Workdayは顧客、見込客、パートナー企業、ウェブサイト訪問者のデータプライバシーを極めて真剣に受け止めています。各従業員は、各自がアクセスできる個人データに適用される社内ポリシーと契約上の責任を把握し、そうした責任を果たすという責務を担います。

詳細情報のリンク

[Workdayのデータプライバシーに関するガバナンスポリシー](#)

[顧客データの取り扱いに関するポリシー](#)

Workdayはまた、開発する製品、提供するサービス、使用するデータのプライバシー保護にも責任を持って対応することに尽力しています。Workdayは、当社の**中核的価値観**、具体的には顧客、誠実さ、イノベーションを反映したプライバシー原則に従い、すべての行動においてプライバシーを最優先し、責任のあるイノベーションを創出して、公平性と信頼を守ります。

声を上げる

育てる

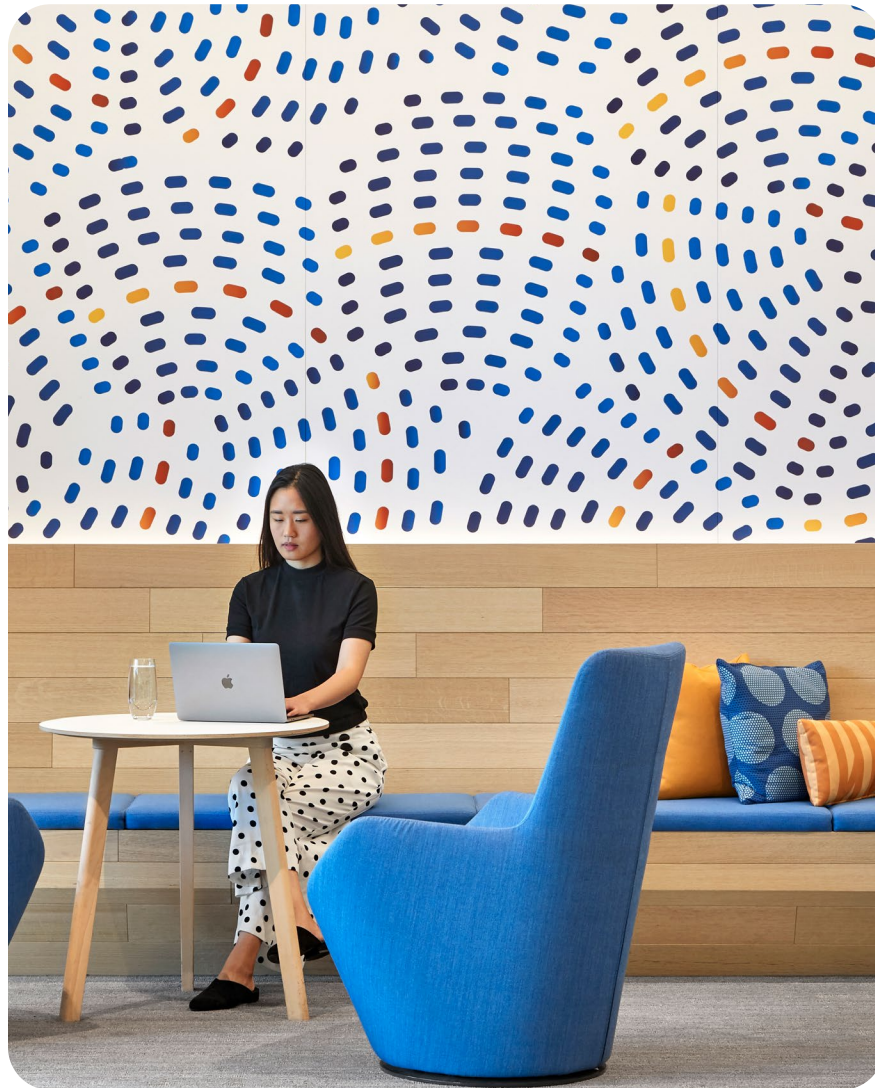
保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する



Workdayの資産とリソース

Workdayは、Workmateが最も効率的に職務を遂行できるよう情報技術 (IT) リソースを提供します。こうしたリソースはWorkdayの所有物であり、WorkdayとWorkdayで働くすべての者にメリットがもたらされるように利用しなくてはなりません。

誠実さを体現するために

Workdayの機器を使用する際には、賢明な判断力を発揮してください。個人的な使用が職場環境に影響していないこと、またはいかなる場合であっても当社のポリシーに違反していないことをいつでも確実に維持してください。

個人的なITリソースの私用は制限された範囲で許されますが、Workmateや他者の業務遂行に差し支えるようなことがあってはなりません。WorkdayはITリソースの使用を監視し、調査する権利を留保します。

詳細情報のリンク

[Workday所有物の適正使用に関するポリシー](#)

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

行動する – 誠実に行動する

Workdayは、Workdayの一員として行動するすべての者に対し、誠実に、正直に、倫理に背くことなく職責を果たすことを求めます。

贈答品と接待

Workdayは、価格、品質、サービスに基づいて他社の製品やサービスを購入します。同様に当社の顧客も、Workdayの価格、品質、サービスに基づいて当社のサービスを購入することを当社は期待しています。したがって、すべての商取引は公平で客観的でなければならず、汚職や不適切な影響力がない状態で行わなければなりません。

誠実さを体現するために

儀礼的なわずかな金額を超える現金または金券類、ギフトカード（AMEX、VISA、マスターカードなど）、融資、株式を提供または受領してはなりません。

その状況に見合った適度な接待や贈答が、適切に記録されることにより、信用ある健全な業務関係を築くことができます。ただし、従業員、従業員の家族、代理人などが贈答品や接待を提供するか、または受け取るには、以下のすべての要件を満たす必要があります。

- 現金、ギフトカード、金券類で、儀礼的なわずかな金額を超えないこと
- 商的慣習に沿っていること
- 妥当な価値であること
- オープンで透明性があること
- 合理的に見て、わいろや献金と見なされるものでないこと
- 一切の法律、規制、または相手方の該当するポリシーに違反しないこと

少額の贈答品を除き、Workdayの職務の遂行に関連して、第三者から一切の金銭類や実質的利益を受け取ってはなりません。

詳細情報のリンク

[贈答品と接待に関するポリシー](#)



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

利益相反

Workmateは職責を果たす上で、常にあらゆる面においてWorkdayにとって最善の行動をとることが求められます。簡単に言うと、Workmateは利益相反を避けなくてはなりません。

利益相反は、個人的な利害や第三者の利害がWorkdayへの忠誠心に影響する時に発生します。Workmateは全員、賢明な判断を下し、他者の意見を参考にして、実際の利益相反、潜在的な利益相反、または利益相反の疑いが発生するような状況を回避しなくてはなりません。利益相反が疑われる状況におけるベストプラクティスは、その状況を直属のマネージャー、当社の法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部、またはWorkdayインテグリティチームに相談するまで自ら行動しないことです。実際の利益相反や潜在的な利益相反を回避または開示することを怠った場合、Workmateの解雇を含む懲戒処分の対象となります。

潜在的な利益相反は珍しいものではなく、適切に開示・管理されている限り、必ずしも禁止されるものではありません。利益相反は次のように、さまざまな形で発生します。

- Workdayと直接競合する会社、同類の会社、またはWorkdayが投資している会社に個人的に投資した場合
- 副業する、他社の顧問・役員になる、または他社を所有した場合
- Workdayの職務遂行に伴って商機が得られる場合
- 家族やその他親類とWorkdayとの間で取引をする場合
- Workdayにおける役割に関して、直接、または家族や親しい友人を通じて、過度な贈答品または業務上の接待や取り計らいを受けた場合
- 部下、上司、または管理職と個人的な関係を結んだ場合
- Workdayの従業員が株主である会社、または取締役を務める会社にWorkdayが投資する場合

その行動が業務遂行能力に影響する、またはWorkdayに実際の利益相反が発生するとWorkdayが判断する場合、当社は利益相反を緩和するため、そうした行動をやめるよう要求するか、またはその他の措置を講じることがあります。

誠実さを体現するために

透明性は重要です。利益相反が生じても、必然的に本規範の違反につながるわけではありません。しかしながら、利益相反を開示しないことは違反になります。直属のマネージャーまたはWorkdayインテグリティチームに相談し、利益相反の開示を行ってください。

詳細情報のリンク

[利益相反ポリシー](#)

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

不適切な支払いを防止する

Workdayは信頼性と透明性のある方法で顧客とやりとりを行います。また、当社は顧客の判断に影響を及ぼす不適切な支払いを行うことはありません。

腐敗行為は当社の顧客にさまざまな弊害をもたらします。例として、顧客が必要以上の支払いを行うことなどが挙げられます。不適切なビジネスによって利益を得ることよりも、常に顧客の信頼を勝ち取り維持することの方が重要です。

誠実さを体現するために

倫理的に問題があるように感じられる行動や支払いについては、いつでも報告します。



Workdayが賄賂、キックバック、その他の不当な利益によって、事業の優位性を確保することは絶対にありません。

- 当社は、いかなる相手にも賄賂やキックバックを提供したり、提供を申し出たりすることはありません。
- 当社では、許認可を確保するための支払いや、日常的な行政手続きを早めるための少額の支払い（いわゆる「円滑化のための支払い」）など、あらゆる種類の不正な支払いを禁止しています。
- 当社は、いかなる取引においても、取引条件と合意事項を明確にし、簡素化するように努めます。
- 当社は、誠実であると定評のあるパートナー企業と協力し、パートナー企業の担当者が倫理に反している、またはわいろを支払っている可能性があると思われた場合は報告します。
- 当社は、政府役人または顧客に申し出る一切の贈答品、接待、出張・旅行が、合法かつ妥当で適切なものであることを徹底します。当社は、米国連邦政府の役人に対し、いかなるビジネス上の便宜も図ることはありません。
- 当社は、採用候補者の資質に基づいて候補者を雇用します。顧客や公務員の利益のために雇用を決定することはありません。
- 当社が慈善寄付を行う場合、正当な慈善目的を支持して行います。有利に取り計らってもらうために寄付を行うことはありません。
- 当社が贈答品や接待を求めたり、そそのかしたりすることはありません。

詳細情報のリンク

[腐敗防止ポリシー](#)

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

責任あるAI

Workdayは誠実なイノベーションを創出します。AI製品とAI技術の開発でも、同様に心掛けています。責任あるAIプログラムの使命は、顧客に十分にご満足いただき、かつ社会に良い影響を与えられるよう、革新的かつ信頼性のあるAIおよび機械学習（ML）製品を開発するという当社の志をさらに導くことです。

本プログラムの中心には、以下のような一連のAI倫理原則が組み込まれています。

- 人間の潜在能力を増幅する
- 社会に良い影響を与える
- 透明性と公平性を擁護する
- データのプライバシーと保護に対する当社のコミットメントを達成する

これらの原則は責任あるAI（RAI）のガバナンスフレームワークを通じて運用化されており、プロダクトマネージャー（PM）は、AIまたはMLのすべての新製品開発における発案段階で、RAIに対するリスク評価を実施する必要があります。リスク評価が完了すると、PMには、新製品のユースケースに特化した専用のRAIガイドライン一式が直ちに提供されます。PMは、アプリケーションがこのガイドラインに準拠して構築されていることを文書化するよう指示を出します。WorkdayのRAIチームと製品法務チームは、要請に応じてPMの業務を支援します。

詳細情報のリンク

[責任あるAIの開発ポリシー](#)



競争する – 公平で誠実な競争に徹する

営業と広告

Workdayは自社製品・サービスの特長と品質を武器に競争します。Workdayが顧客や見込客とコミュニケーションを行うときは、信頼に値する、正確なやりとりを旨としなければなりません。当社は自社製品・サービスについての説明が正しいことを実証できなければなりません。すべての販売促進、広告、マーケティング資料・素材は適切な広告情報承認プロセスを経なければなりません。

競合情報と公正な競争

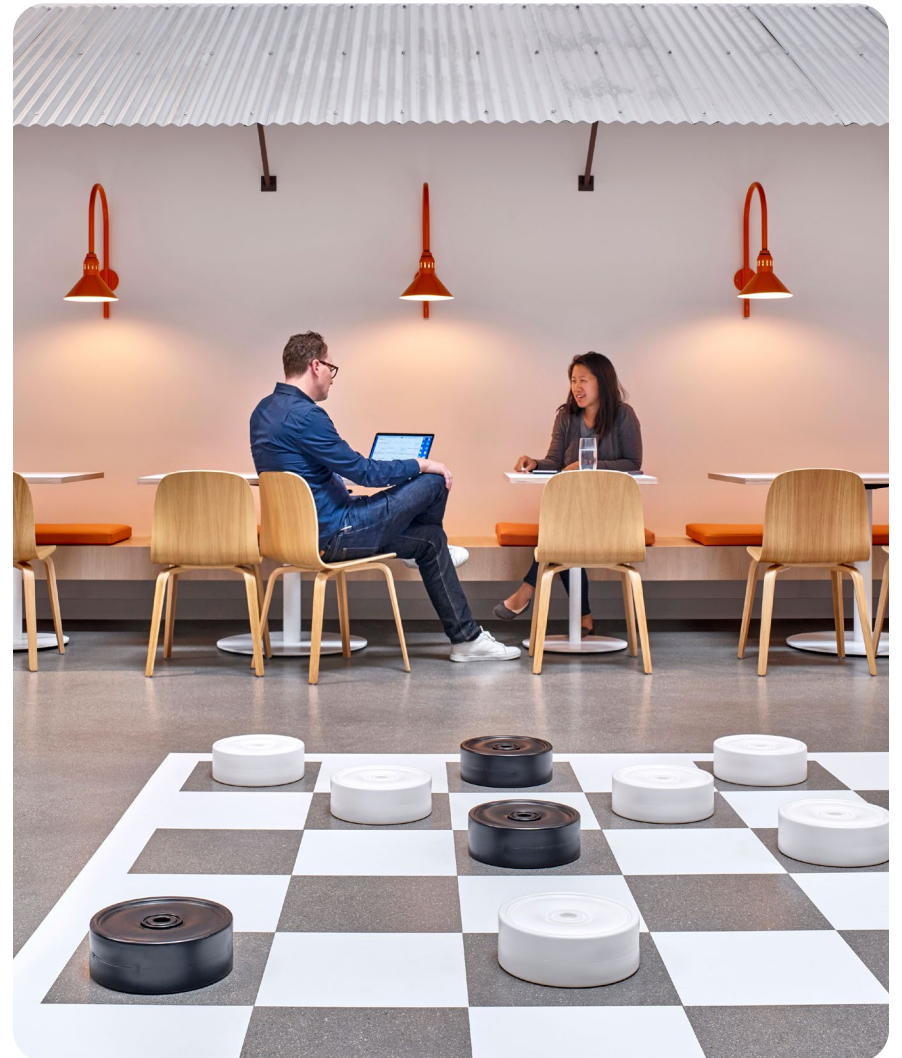
Workdayは自由でオープンな競争こそが正しいあり方であると考えています。また、優れた製品・サービスを備えていれば、公平かつ誠実な方法により競合他社に勝つことができると確信しています。

以下の情報を手に入れようとする、または使用することは絶対あってはなりません。

- 競合他社の入札に関する情報
- 専有情報をコピーしたもの、書き写したもの、またはその画像
- 従業員に過去の雇用主について尋ね入手した、その雇用主の情報
- 企業秘密保護関連の法律で保護されている可能性のある技術データ、エンジニアリングデータを含む情報

当社は以下を実践し、公平な競争によって事業成功を達成します。

- いかなる形であれ、競争を制限するような一切の公式または非公式の契約、同意、協定を回避します
- 入札において不正操作せず、または他者による不正操作をほう助せず、競争的なビジネスプロセスを尊重します
- 当社の独立パートナー企業が顧客に課す価格について指図しません



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

Workdayの知的財産

イノベーションは当社の中核的価値観の一つです。Workdayの誰もが知的財産の創生に懸命に取り組んでいます。当社は新技術の発明、新製品と新規事業に関するアイデア、コンセプト、クリエイティブコンテンツ、および当社が生み出すその他の情報を高く評価し、大切にしています。こうした知的財産を保護するための適切な手順を見きわめ、実行しなければ、Workdayはこれに伴う権利と競争上のメリットを失うことになります。

詳細情報のリンク

[知的財産 @ Workday](#)

他者の知的財産の保護

Workdayは公正に競争に参加しています。このため、Workmateは他社に属する未公表情報、制限情報、または機密情報を、その会社の許可なく所有または使用してはなりません。この規則は、競合他社および過去の勤務先に関する情報のほか、当社の顧客およびビジネスパートナーの情報にも適用されます。

自分自身とWorkdayを守るためには、すべての当事者は、当社の法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部により承認された適切な機密保持契約を締結するまで、他社の未公開情報、制限情報、または機密情報を求めたり、受領したりしてはなりません。Workmateが第三者の未公開情報、制限情報、または機密情報を不本意に所持することになった場合は、直ちに当社の法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部に連絡してください。

スライド、プレゼンテーション、図面、図表、コードなど、コンテンツや業務に関するものを作成する場合は、一から作成しなくてはなりません。Workmateは適切な許可なく、他者が所有するコンテンツをWorkdayの資料の一部として使用、複製、包含してはなりません。

詳細情報のリンク

[オープンソースに関するポリシー](#)



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

尊重する – 法規を遵守する

規則を遵守する

Workdayは規則に則って事業を運営します。このことは、当社がその中核的価値観に従い、適用される国、州、地域の法規を守って事業を行うことを意味します。



法規の遵守

Workdayは多くの国で事業を行っており、本規範において、すべての適用される法律、規制、法的要件を取り上げることはできません。しかしながら、Workdayが事業を行っている国のみならず、Workmateが出張、出向する国におけるすべての規制と法的要件に従うことは不可欠です。Workmateは各自に適用される法規を把握し、これらを熟知する必要があります。

法的要件と本規範が異なる場合は常に、そのうちの最も厳格な基準を適用します。法律や規制に反する一切の作為もしくは無作為、または非遵守の場合に相当のリスクが生じる一切の作為もしくは無作為については、当社の法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部の助言と指導に従ってください。

貿易に関する法律

Workdayが出荷する物理的製品はそれほど多くはありませんが、Workmateは輸出規制と貿易関連の法律について注意する必要があります。こうした規制や法律は、ソフトウェアアプリケーションにも適用されることがあるというのがその理由です。当社はグローバル企業であるため、ビジネスの相手をよく知っておくこと、かつ、国や地域を越えて共有する情報や移転される情報とはどのようなものであるかを知っておくことは必須です。全従業員は以下の点に注意する必要があります。

- 輸出規制。特に、国境を越えて送信する情報と技術データに関する規制
- 特定の国の政府、法人または個人とのビジネスを制限・禁止する経済制裁
- 違法なボイコット。また、ボイコットへの参加を裏で隠れて要請すること

誠実さを体現するために

貿易規制または輸出規制が適用されるかどうか分からない場合、または個別の案件においてどの貿易規制または輸出規制が適用されるか分からない場合に、推測で判断してはなりません。行動する前に問い合わせてください。

詳細情報のリンク

[グローバル取引ポリシー](#)

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

インサイダー取引

Workdayは、各自の役割を問題なく遂行するために、Workmateと情報を共有しています。時には、社外投資家に公開される前に、Workday、その顧客、サプライヤー、またはパートナー企業に関する機密情報をあなたが受け取ることがあります。

詳細情報のリンク

[Workdayの証券取引に関するポリシー](#)

Workdayの従業員、役員、取締役、代理人、契約従業員は、別の会社に関する重要な未公表情報を入手した場合、Workdayまたはその別の会社の証券を取引してはならず、またそのような証券の取引を行うよう他者に内報してはなりません。

誠実さを体現するために

ある会社の重要な未公表情報を入手した場合、その会社の証券を取引してはなりません。そのような会社には、Workday、その他の会社も含まれます。

重要情報とは、平均的な投資者が投資判断上重要であると考えられる情報を指します。未公表情報とは、まだ一般に共有されていない機密の情報を指します。この種の情報を利用して証券を売買すること（または、売買するよう他者に内報すること）は、インサイダー取引法とWorkdayのポリシーの違反になります。

誠実さを体現するために

署名権限を有する場合は、正確で信用できると見なされる文書（契約書を含む）にのみ署名します。確信できない場合は、質問してください。

正確な記録

Workdayは正確で理解可能な情報のすべてを適切なタイミングで一般に公開するものと期待されています。また、このように情報を整備することで、当社が賢明な事業判断を下し、財務上、監査上、およびその他の規制上の義務を果たせるようになります。すべてのWorkmateはWorkdayの記録と財務報告の正確性に責任を持ち、常に以下に従わなくてはなりません。

- 信用でき、かつ明確な財務記録を作成・維持すること
- Workdayの支出、契約、購入の要件に従い、必要な許可を取得すること
- 絶対に虚偽の取引を記録してはならず、取引を偽装してはならない。また、補足文書は使用しないようにする
- 記録文書を適切な方法で保存、維持、破棄すること。これには、訴訟ホールドまたはその他のホールドの要請に従うことが含まれる
- 監査、調査、捜査に協力すること
- 取引は本質的に事実に基づくものであるため、この事実は絶対に隠ぺいしてはならない
- 問題であると思う一切の行為を報告すること

Workdayは、適用されるすべてのマネーロンダリング防止法令とテロ資金対策法令を遵守し、決して資金の移動を隠蔽することなく、合法的な出所から受け取った資金のみを受領し、第三者による脱税を援助したり、促進したりするような業務・取引は一切拒否します。

財務報告を担当するWorkmateは特別な倫理上の義務を負い、最高水準の実直さと誠実さを持って行動し、利益相反を避け、本規範に対する説明責任を促進します。財務報告を担当する従業員は、重大なリスクを認識し、法的な指導を仰ぐ時宜を知り、法律、ビジネス倫理、または本規範のいずれかの規定に反すると考えられる一切の行為を最高経営責任者、最高法務責任者、監査委員長などに速やかに報告することができなければなりません。

誠実さを体現するために

記録の背景にある取引の実態を正確に反映した業務記録を作成・維持してください。これにより、当社の財務報告書が正確となるよう努めることができます。

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

政府、行政との関係

Workdayは国、地域、州、地方の政府または行政との良好な関係を大切にしています。また、当社が事業を行っているすべての地域において、政府の役人およびその他の者と、公正かつ誠実に、良好な関係を築いています。

Workmateは政府もしくは行政との取引において信頼される存在となり、実直で忌憚のない交流を育まなくてはなりません。また、政府職員または政府代表者に虚偽の情報や紛らわしい情報を提供するよう誰かに指図したり、促したりしてはなりません。

詳細情報のリンク

[公共セクター事業における契約とやり取りに関するポリシー](#)

Workmateは以下についても注意する必要があります。

- 政府の機関、職員または役人と取引する際は、本規範、腐敗行為防止ポリシー、他の関連するポリシーおよび現地の法律に注意を払ってください。
- 政府役人との間で贈答品またはビジネス上の接待を授受する場合は、それがどのようなものであれ、Workdayのインテグリティチームまたは法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部から事前に承認を受ける必要があります。
- 事業上の判断に不適切な影響を及ぼす目的で慈善寄付を行ってはなりません。
- Workdayを代表して政治献金をしてはならず、献金を約束してもいけません。
- 捜査に関する記録を破棄するよう誰かに指図したり、促したりしてはいけません。

詳細情報のリンク

[政府、行政とのやり取りに関するポリシー](#)

一般への開示

Workdayの社外（マスコミ、投資家、世間一般など）に公表するすべての情報は正確で完全で一貫性あるものでなくてはなりません。一般向けまたは規制当局とのコミュニケーションにおけるすべての開示は、完全に、公正に、正確に、適時に、理解可能な形で行う必要があります。

Workdayまたはその事業活動に関する情報を共有できるのは、承認されたWorkday広報担当者に限る必要があります。報道関係者と業界アナリストからの問い合わせは、Workdayコーポレートコミュニケーションチームに付託し、財務と投資に関する問い合わせは、Workdayインバスターリレーションズ部に付託してください。こうした問い合わせで尋ねられた質問には自身で回答しないで、問い合わせがあったことを直属のマネージャーに知らせてください。当社の[ソーシャルメディアポリシー](#)では、ネット上でWorkdayに言及する時に注意すべき事項について、詳しく説明しています。

マスコミ関係者やWorkdayと無関係の者がWorkdayの施設、イベント、コロケーションセンターに突然現れ、映像撮影や写真撮影を求めたり、その他の問い合わせをした場合は、その訪問者にはWorkdayの事業について一切話せず、直ちに会社に報告してください。

誠実さを体現するために

マスコミ（新聞、ラジオ、テレビ）、アナリスト（金融アナリストまたは業界アナリスト）、またはソーシャルメディアユーザー（ブロガー、評論家）が接触してきた場合、応答しないでください。その代わりに、直属のマネージャー、Workdayコーポレートコミュニケーション部、インバスターリレーションズ部、または法務・コンプライアンス・コーポレートアフェアーズ部に連絡してください。

配慮する – 地域社会を大切にする

企業の社会的責任および人権

Workdayはあらゆる人の根本的尊厳を大切にし、個人の権利を尊重します。当社は世界各地で事業を行っており、人権の尊重に尽力しています。

当社はすべての業務において、以下に配慮して取り組んでいます。

- 当社は強制労働と搾取的な児童労働を非難し、現代奴隷制も人身売買もない職場とサプライチェーンを推進します。
- 当社は従業員の合法的な結社の自由を尊重します。
- 当社は、公平な報酬を従業員に与え、基本的なニーズが満たされるよう支援し、従業員が知識、技能、能力を向上する機会を提供します。
- 当社は、個人の適性と実績のみに基づいて雇用、報酬の提供、昇進、懲戒を行い、その他の雇用上の条件を提供します。Workdayは社内でのいずれのレベルにおいても、保護される特性に基づく差別はしません。
- 当社は安全で健全な職場環境を提供します。
- 当社は、自社の事業活動における環境への影響を低減するという目標を設定することによって、環境パフォーマンスを向上できるような取り組みをします。
- 当社は、エンタープライズ向け機械学習を責任をもって開発し、配備していく上での指針となる一連の主要原則を忠実に守り、機械学習によって幅広くもたらされる社会的影響に対処します。
- 当社は当社製品と事業運営において紛争鉱物が使用されることに対して非難し、当社のサプライヤーにも同様に非難するよう求めます。
- 当社は個人のプライバシーを尊重しており、プライバシーは基本的人権であると見なしています。



誠実さを体現するために

Workdayのコミュニティ活動やリソースの使用許可以ついでに質問は、ピープルガイドリクエストを開き、Workday Giving & Doing (奉仕活動部) までお問い合わせください。

声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

尊重する

配慮する

政治的貢献

従業員は個人的貢献を通して政治的プロセスを支援することはできますが、Workdayの代理として支援を行うことはできません。また、公職候補者や政治団体のために、勤務時間外にボランティア活動を行うことができます。ただし、そのために会社の電話、電子メール、コンピューター、消耗品など、一切のWorkdayのリソースを使用してはなりません。

慈善寄付

Workdayは、当社従業員がボランティア活動をして地域社会に貢献するよう奨励し、従業員が個人的にかかわっている団体に対し、募金活動やボランティア活動に対するマッチング寄付の機会を設けています。しかしながら、政治的活動の場合と同様に、Workdayが特別に認可または支持していない慈善団体やその他の非営利団体を従業員が個人的に支援するにあたって、Workdayのリソースを使用することはできません。

環境サステナビリティ

Workdayは従業員と地球を大切にすることに尽力しています。当社のサステナビリティチームは、利害関係者へのコミットメントを支援し、かつ当社の中核的価値観に沿う環境サステナビリティに向けて率先して取り組んでいます。環境への影響を軽減しながら成功に導く組織づくりに関する重要事項を詳しく知りたい場合は、[グローバルな影響に関する報告書](#)をご覧ください。

Workdayは適用されるすべての環境法規制を遵守しなければならず、同様のことがサプライヤーやパートナー企業にも求められます。Workdayのサプライヤーおよびパートナー企業に関する行動規範では、当社のサステナビリティについての期待事項が掲載されています。

詳細については、sustainability@workday.comまでお問い合わせください。

詳細情報のリンク

[環境サステナビリティに関するポリシー](#)

グローバルな影響

当社は、Workdayファウンデーションおよび寄付と奉仕活動に対するWorkmateの深いコミットメントを通じたさまざまな方法で、全世界の各地域社会と関わりを築いていることに誇りを持っています。地域社会のために時間を費やし、専門知識を活かし、直接的に貢献することは、Workdayの企業文化の中核です。

当社には、地域社会への投資の指針となる3つの主要な優先事項があります。

- **Workmateの貢献**：当社は、地域社会に参画することを希望するWorkmateを支援します。
- **無償の貢献**：当社はスキルに基づくコンサルティングプロジェクトによって、Workmateの時間と才能を捧げ、社会的問題の解決を支援します。
- **利他的貢献**：当社は恵まれない市民の経済的自立をさらに後押しするために、労働力開発の取り組みに投資します。



声を上げる

育てる

保護する

行動する

競争する

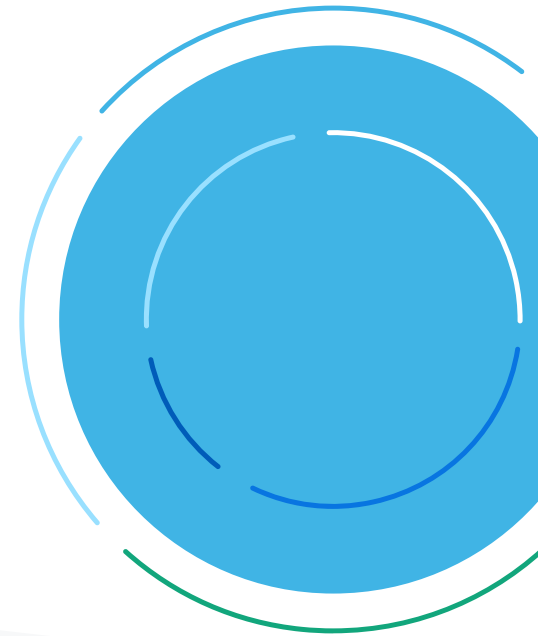
尊重する

配慮する

ポリシーの管理、適用免除、修正

Workdayの取締役会は、本規範に盛り込まれているビジネス行動基準を規定し、その遵守を直接またはその委員会を通じて監視します。Workdayのインテグリティ兼コンプライアンス担当最高責任者は本規範の遵守を確実にすることに責任を持ち、またその役割を果たしながら、取締役会とその委員会の直属となります。

Workdayは、当社のポリシーと手順を継続的に見直し、更新することに尽力していません。そのため、本規範は取締役会または取締役会が任命する者による修正の対象となります。本規範のいずれの条項の適用免除も、Workdayの最高法務責任者の書面による承諾を必要とします（または、適用免除の対象が取締役および執行役員である場合は、取締役会の書面による承諾が必要です）。また、当該の適用免除は、連邦証券取引法および適用される証券取引規則で義務付けられている通り、速やかに開示されます。



ワークデイ株式会社 | 代表: +81-3-4572-1200 | workday.co.jp

© 2024. Workday, Inc. All rights reserved. Workday および Workday のロゴはWorkday, Inc. の登録商標です。その他のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
20240131-code-of-conduct-guide-JP